

先進的事例（情報発信）：地域と協働したラウンドテーブルセッションやセミナーの実施

実施機関名：関西大学

本事業では、大阪の留学生（学位取得を目指す学部・研究生）の増加を促進し、留学生が卒業後も大阪（主に北摂）の地域住民とともに共生する支援を、産・官・学・金（金融）・地（地域）コンソーシアム参画団体で行っている。この支援活動母体の存在を国内外へ発信する活動の一つとして、標記の取組を行っている。



【地域と行うフォーラム】

平成30年1月23日には、「CARES フォーラムin大阪ー外国人留学生の卒業後の定着を考えるー」を実施した。今後の各地域における外国人留学生の獲得の戦略及び入学後の生活支援から卒業後の定着支援までについて考える機会をもった。



【CARES-Café】

- ・平成28年9月より実施(毎月1回)
- ・吹田市国際交流協会(SIFA)協力
- ⇒地域住民及び地域に住む外国人就労者と留学生の交流
- ⇒就職や就労、生活に関する法的な手続きなどの相談の機会の提供



【地域でのALT活動】

外国語指導助手(ALT)について、現場での活動状況や学校の様子等を留学生が見学し、職場を体験する取組を、平成28年度より吹田市国際交流協会との再委託契約により配置された多文化共生アドバイザーの企画事業の一つとして実施している。